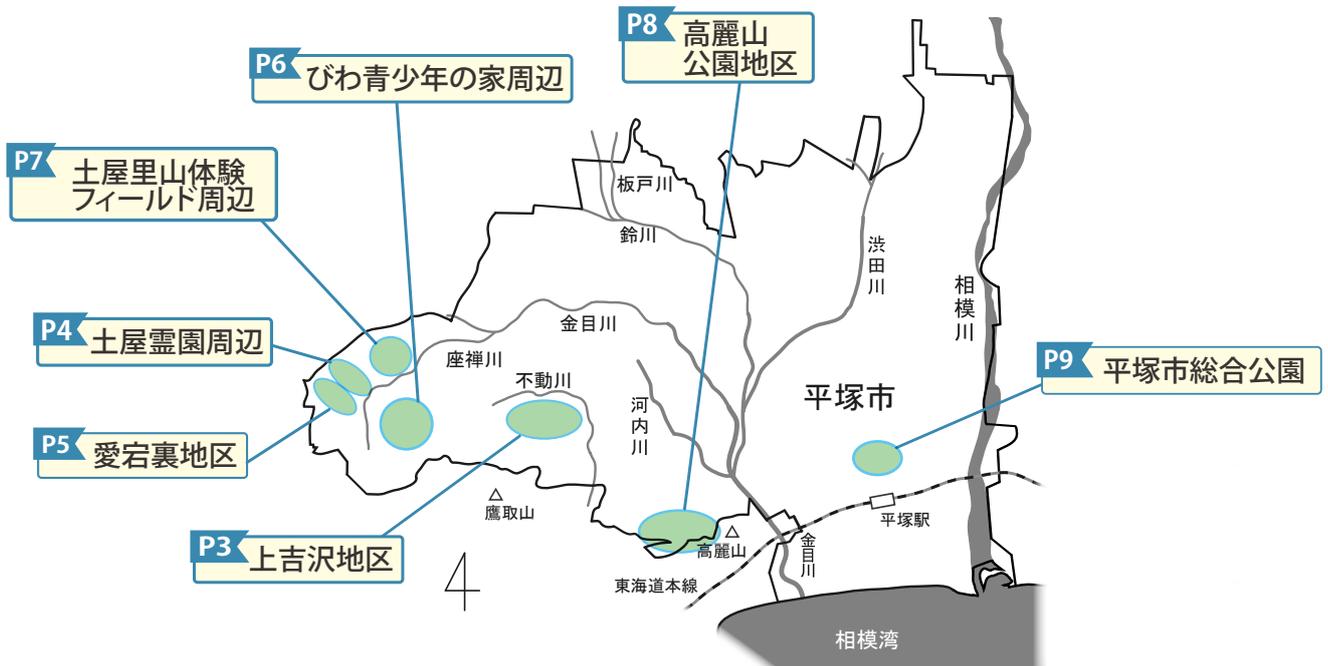




ひらつかの
生きものの命
つないでいこう

ひらつか生物多様性推進協議会の取り組みと
令和元年度調査対象エリアの紹介



平塚市生物多様性保全推進事業について

平塚市生物多様性保全推進事業とひらつか生物多様性推進協議会の役割

平塚市生物多様性保全推進事業とは、平塚市が令和4年度を目安に、「市民」「事業者」「行政」それぞれが平塚市の自然や生物のために取り組むべきことを示した「平塚市生物多様性アクションプラン(仮称)」を策定する事業です。

この事業におけるひらつか生物多様性推進協議会の役割は、令和元年度から令和3年度の3年間で、平塚市との協働事業として市内の生物の生息状況を調査して生物多様性の現状を把握し、アクションプランの基礎資料として活用するための自然環境評価書を作成することです。

～ひらつかNEXT～
平塚市総合計画

平成29年度 平塚市環境基本計画
生物多様性に関する6つの項目

- 情報収集や保全策の検討
- 保全対策の推進
- 野生生物への理解の推進
- 有害鳥獣対策
- 外来生物の防除
- 市民団体の活動促進

平成28年3月
かながわ
生物多様性計画

令和元年度～3年度
市内の生物相の
調査活動

令和3年度
平塚市自然環境
評価書作成

平塚市
生物多様性の
現状把握

令和4年度

平塚市生物多様性
アクションプラン
(仮称)

生物多様性の
豊かさを後世に残す
ための取り組み

平塚市が策定

ひらつか生物多様性
推進協議会が担います

ひらつか生物多様性 推進協議会の構成

平成30年度に、生物や自然環境に対して造詣があり、市内の里山や河川沿岸で活動する「市民」「事業者」などによって、組織されました。



ひらつか生物多様性推進協議会

市民(団体)など

里山をよみがえらせる会

NPO法人暮らし・つながる森里川海

桂川・相模川流域協議会
相模川湘南地域協議会

金目川水系流域ネットワーク

こまたん

日本野鳥の会 神奈川支部

学識経験者

横浜ゴム株式会社 平塚製造所

平岡幼稚園

事業者

行政

平塚市 環境保全課

ひらつか生物多様性推進協議会の事業

① 自然環境評価書の作成と、そのための生物調査活動

平塚市では平成17年度に平塚市自然環境評価書が作成されて以降、生物調査が実施されていないため現状の生物相の情報が不足しています。そのため、令和元年度から(仮称)平塚市生物多様性アクションプラン策定の基礎資料となる生物調査を開始し、令和3年度にその調査結果をまとめた自然環境評価書を作成します。

植物班

指標種:49種

昆虫班

指標種:52種

鳥類班

全種調査

哺乳類班

指標種:カヤネズミ

魚類・甲殻類班

全種調査

両生・爬虫類班

全種調査

植物、昆虫、鳥類、魚類・甲殻類、哺乳類、両生類・爬虫類の6分野において専門性を有する市民・学識経験者で構成したグループにより、令和元年度は市内の7つの重要拠点の調査を進めています。

② 生物多様性保全のための啓発活動

市内の自然環境の豊かさを伝えるため、自然観察会を開催し、環境イベントへも参加しています。



土屋の里山での植物観察会



横浜ゴム平塚製造所で開催された体験型環境イベント「Think Ecoひらつか2019」(2019年11月9日)にパネル出展しました。

また、生物多様性の保全についてのパネルディスカッションにも当協議会メンバーが登壇しました。

上吉沢地区



吉沢八景
吉沢の里地

尾根道には、雄大な大山を望む菜の花畑が広がります。開放的な丘を越えると、景色は一変します。鷹取山山麓には二次林が広がり、南側には水の浸食によって形成された谷が見られ、不動川の支流の宮下川が流れています。このように上吉沢地区は、多種多様な自然を楽しむことができます。樹林環境と草地環境は豊富です。



中吉沢の池



八剣神社



キビタキ



この地区で見られる生きもの

アブラハヤ



オカトラノオ



マツムシ



ヤマアカガエル



メジロ



土屋霊園周辺

土屋霊園は、平塚市の西端に位置し、市街地から約13km、車で約25分の、足柄上郡中井町に隣接している場所にあります。周辺台地は「遠藤原」と呼ばれる畑地が広がり、丹沢山麓を望む景観はすばらしく、多様性の高い二次林に囲まれた静かな環境にあります。駒ヶ滝の谷戸は、湿地性生物の種数が豊富です。



この地区で見られる生きもの



ツグミ



フデリンドウ



カテンソウ



ジャコウアゲハ



ミルンヤンマ



ツチガエル

愛宕裏地区

平塚北西の七国峠の近くには標高115メートルの愛宕山があり、山頂には約0.74ヘクタール(約2000坪)の愛宕山公園があります。愛宕山を下ると、谷戸景観が広がります。この地域では他の地域では確認することが少ない植物が自生しています。



愛宕神社

この地区で見られる生きもの



シュレーゲルアオガエル幼体



ドジョウ



ホトトギス



ヒオドシチョウ



ヒバカリ



ヤマガラ

びわ青少年の家周辺

びわ青少年の家敷地や周辺地域には、ノアザミ、ワレモコウなどが多数生える草地が見られます。地区内には、コナラ、クヌギなどの二次林が広がっています。谷戸には、シオヤトンボを始めとする多くの湿地性生物が生息しています。

びわ青少年の家



谷戸



ジョウビタキ



この地区で見られる生きもの

ケラ



ノアザミ



ジャノメチョウ



シオヤトンボ



シジュウカラ



土屋里山体験フィールド周辺

当地はコナラやクヌギ等から構成された二次林が带状に続いており、谷戸田や素掘りの水路、草地等良好な里山の自然が残されています。そのような樹林と水辺がセットで存在している環境を反映して、多くの生きものを観察することができます。



この地区で見られる生きもの



アオサギ



ホタルカズラ



サワガニ



カトリヤンマ



カヤネズミ



ジムグリ

高麗山公園地区

高麗山公園地区は、潜在自然植生を彷彿とする樹林帯を観察することができます。各コースともさまざまな種類の樹林によって構成され、アオバトの中継地点にもなっています。



常緑樹が多い

この地区で見られる生きもの



コゲラ



アキカラマツ



ハカタシダ



ニホントビナナフシ



アズマヒキガエル幼体



アオバト

平塚市総合公園

野鳥の森の中央に位置する池では、コガモが冬を越す他、時にはカワセミやアオサギも姿を見せます。周囲の森では、シロハラ・アオジ・シメなどの冬鳥を見かけます。また、アズマヒキガエルも記録されており、夜には遊歩道を歩く姿が観察できます。野鳥の森は人の立ち入りは制限されていますが、木柵にはのぞき穴が施され、気軽に鳥の観察を楽しむようになっています。



この地区で見られる生きもの



調査活動の様子

平塚市の自然環境を評価するために、指標となる生きものを目視や鳴き声等により調査を行っています。



今後の調査スケジュール

令和2年度

河川	相模川
	金目川
海浜	花水川河口
水田	豊田・片岡
前年度のフォローアップ調査	

令和3年度

- 全エリアのフォローアップ調査
- 調査データの分析・評価
- 自然環境評価書の作成

本冊子で紹介した令和元年度の7つの調査エリアの他、令和2年度からは左記のエリアの調査も始めます。

令和3年度にはそれらの結果をまとめて自然環境評価書の作成を行い、平塚市が策定する「平塚市生物多様性アクションプラン(仮称)」へと繋げていきます。

生物多様性とは

地域を特徴づける自然があり、それぞれに特有の生きものがいること、そして、それぞれがつながっていることです。

多様性には、以下の3つのレベルがあります。

